

かたの 市議会だより

★
第156号

平成22年
5/1

議会ニュース 第1回議会定例会

22年度予算決まる 総額443億円
一般会計・6特別会計・水道事業の各予算を可決

第二京阪道路が全線開通（3月20日）

目次

- 2 議会ニュース
- 3-6 一般質問
- 7-6 委員会審査のあらまし
- 10 議会で決まったこと

第1回定例会と第2回臨時会を開催

平成22年第1回議会定例会は3月1日～26日の26日を会期として開き、市長提出案件23件、議員提出案件12件を審議しました。第2回議会臨時会は3月30日の1日を会期として開き、市長提出案件1件を審議しました。

22年度予算決まる 総額443億円

一般会計・6特別会計・水道事業会計の各予算可決

平成22年第1回議会定例会

本会議の動き

第1回議会定例会

今議会は、3月1日の本会議において、市長の施政方針表明が行われました。

続いて、21年12月議会でも都市環境福祉常任委員会に付託し、継続審査となっていた「交野市葬儀条例の一部を改正する条例」について、閉会中の審査報告を受けた後、修正案が提出され、賛成多数で一部修正可決しました。

次に、「人権擁護委員の推薦について」の諮問を適任とし、「専決処分事項報告について（和解及び損害賠償の額の決定）」の報告を受けた後、公平委員会委員及び固定資産評価員の選任に同意し、「交野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について」等5議案を満場一致で可決しました。

第2回議会臨時会

また、「平成21年度交野市一般会計補正予算（第7号）について」ほか2議案を総務文教常任委員会に、5特別会計予算など9議案を都市環境福祉常任委員会に、「平成22年度交野市一般会計予算について」を予算特別委員会に付託しました。

8日～11日には、施政方針並びに市政全般に対する一般質問を行いました。なお、11日は一般質問終了後、追加議案の「星田駅前パチンコ店出店に関する住民訴訟に交野市の訴訟参加を求める決議について」を賛成多数で可決しました。

15日～18日は予算特別委員会、23日は各常任委員会を開き、各議案の審査を行いました。

最終26日は、各委員会の付託案件審査経過及び結果の報告が行われ、「交野市

福祉バス条例の制定について」は賛成少数で否決されましたが、その他の付託議案は可決されました。次に、議員提出議案として追加上程された「交野市斎場使用料補助金交付条例の制定について」及び「交野市議会議員の議員報酬並びに費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について」を賛成多数で可決しました。

その後、7本の意見書を可決し、最後に行財政対策・議会改革・広報の各特別委員会委員長から、閉会中の審査経過報告がありました。

第2回議会臨時会

今議会は、第1回定例会において可決した「交野市斎場使用料補助金交付条例の制定について」に対し、市長から再議が提出されたことに伴って招集されたものです。審議では、市長から再議に付した理由の説明を受け、質疑、討論の後、採決を行いました。賛成者が3分の2に達しなかったため否決され、同議案は廃案となりました。

議会トピックス

■星田駅前パチンコ店問題に関して、決議と意見書を採択

「星田駅前パチンコ店出店に関する住民訴訟に交野市の訴訟参加を求める決議」 周辺住民がパチンコ店の建築変更確認と営業許可の無効を求め大阪府を提訴した訴訟に、市も原告として参加することを求めたもの。

「市条例の実効性確保のための関係法令の整備を求める意見書」 地域性に応じた特色あるまちづくりができるよう市条例の実効性確保のため、関係法令の整備を求めたもの。

公明党

岩本健之亮・新 雅人
三浦美代子・友井 健二

新エネルギーへの取り組みについて

ほか

問 小・中学校における太陽光発電の導入の考えは。

答 スクールリニューアルの構想を基に、学校耐震化の早期推進、学校への太陽光発電の導入をはじめとしたエコ改修、ICT環境の整備等を推進することとなっている。

問 市が活用するグリーンニューデール基金の事業内容は。



妙見坂自治会館に設置されている太陽光発電装置

答 ゆうゆうセンターの蛍光灯へ反射板を設置することで、全体的に蛍光灯の本数を削減し、節電を図る事業と新エネルギーである太陽光発電装置を設置する。

星田駅前パチンコ店について

問 住民が府に対し訴訟を行い、市に原告として加わって欲しいとの要望があるが。

答 府の建築確認処分・営業許可処分の行為は適法と認識している。訴訟に参加する理由はない。

消防・救急体制について

問 22年度から参画する救急安心センター「#7119」の事業内容について。

答 消防と医療の連携により救急搬送時における円滑な搬送先医療機関の確保の推進、また、適切な医療措置のアドバース等による症状の悪化を軽減するなど救急車の適正な利用が図られるものと考ええる。

福祉行政について

問 小規模多機能型の居宅介護サービスは。

答 倉治に1か所開設している。地域密着型サービスとして、広報及び質の向上に取り組みたい。

問 介護者の方の休息・休暇の確保は。

答 認知症の方のお話し相手・見守りを中心にした、やすらぎ支援員の派遣制度、介護者家族の会の活動支援などがある。

問 子宮頸がんは唯一予防できるがんであるが、予防接種が高額なため公費助成を望むが。

答 公費助成については、本市財政状況が厳しい中で

はあるが、今後十分な検討をしたい。

子育て支援について

問 保育所の待機児童の解消について、市は4月1日に一旦待機児童をゼロにできないか。

答 民間園において、弾力化で1〜2名の増員をお願いしているが、安心こども基金を活用し、施設の増設も検討していただけないかお願いをしている。

財政健全化について

問 財政健全化の推進には事務事業の見直しは不可欠なものと思うが、事業仕分けについて市の考えは。

答 本市でも、その手法について検討を指示したところであり、検討結果を踏まえて判断していく。

その他の質問

一、ごみ処理施設について
一、教育行政について
一、学校の芝生化について

会派無所属 栗原 俊子

星田駅前パチンコ店出店問題について

問 星田駅前パチンコ店出店で、市は市条例を基に業者へ建築中止命令、民事の建築続行禁止や営業禁止の仮処分申立をされたが、効果なく、開店営業を続行した。一方、周辺住民が建築確認と営業許可の取り消しを求めて行政訴訟を提起、市へも原告参加を要請されているが。

答 今回、府の建築確認処分と公安委員会の営業許可は制度にそって適正になされたと判断し、市として訴訟には参加しない。

意見 原告の訴状で、建築基準法は不当な建築物のために直接被害を受ける住民の生活権等を守る趣旨が含まれていて、原告適格が認めら得ることが述べられている。このあたりが争点になるかと裁判に期待している。

市民かがやき クラブ

谷 巖・坂本 顕
野口 陽輔・黒田 実
吉坂 泰彦

市長のマニフェスト総括について

ほか

問 マニフェストでは、19年度に「環境基本条例」を制定するとあったが、現在まだ策定に至っていない理由は。また、交野の自然を守ることは、過去にも様々な形で取り組まれてきたが、条例によって具体的にどう保全しようと考えるのか。

答 市民との協働をもとに、交野の特色を生かした環境基本計画、それに伴う環境基本条例を制定していきたい。

問 マニフェストでは、「自治基本条例」の制定を目指すとしたが、未だ制定に至っていない。理由として、市民の機運がまだ高まっていないことを挙げられているが、今後どのように進めていくのか。

答 マニフェストでは、「自治基本条例」の制定を目指すとしたが、未だ制定に至っていない。理由として、市民の機運がまだ高まっていないことを挙げられているが、今後どのように進めていくのか。

答 環境基本条例は、その理念を現実のものにする環境基本計画とセットで進めるべきと認識している。特に市民との協働による事業では、的確なタイミングをとらなければ機を逸する可能性がある。これまで環境ネットワークとの連携や環境フェスタの開催、L A S Eの取り組みなどに力を注いできた。今後

答 自治基本条例を策定している他市の自治を学ぶ講座やワークショップを開催したが、具体的に作業する機運には至っていない。市民活動ルームのような拠点づくりや、総合計画における市民との協働作業にて動いているのが現状である。こ



職員の執務風景

れでよいとは考えていないが、市長には行政主導の思いがなく、市民の機運を高めながら行うとのことなので、今後も機運を高めるような勉強会を行い、総合計画の作業の延長の中で取り組めればと考えている。

問 昨年度から「人材育成基本方針」が始まった。人材育成は組織にとって重要な部分であるため、就任後まず第一にやるべき仕事であると思うが7年目では遅いのではないか。そもそもどうという人材を育て、ど

のように活かそうと考えるのか。

答 毎年約12～13名ずつ新しい職員を採用しているが、過去にはある年に50人入庁して翌年ゼロのような人事行政が行われていた。いびつな形の組織から500人体制のきれいな形の組織へと移行中であるが、十分に機能するまでにはもう少し時間がかかる。本当に頑張った者が報われる組織作りが課題である。職員と私（市長）自身の信頼関係が、士気に大きく影響するので、個々の職員と常に会話を交わし、コミュニケーションを図るよう努めている。

その他の質問

一、雇用・労働施策、新ゴミ処理施設、第二京阪道路開通後のまちづくり、認知症サポーター講座、小中学校連携学校ICT事業についてなど

会派無所属 前波 艶子

新エネルギーへの 取り組みについて

地球温暖化対策や化石燃料の枯渇のため、クリーンな次世代エネルギーとして注目されている太陽光発電は、国の「太陽光発電の買い取り制度」の創設も相まって国民に深い関心をもたらしている。環境都市を目指す交野も、グリーンニューデール基金を有効的に活用し、先行してゆうゆうセンターに太陽光発電を設置し、省エネルギー化に取り組みまれることだが、先ごろ開催された環境フェスタを見ても、交野市民の環境に対する関心は他地域よりも非常に高く、今後は「市民協働発電」という手法も取り入れた中で、市と地域、或いは市民が協働して地球規模のエネルギー問題に取り組みれることが望まれる。

自由民主党

堀 憲治
稲田美津子

市長のローカルマニフェストの

総括について ほか

問 緊急雇用対策事業の21年度の実施状況並びに22年度の計画について。

ついて。

答 保育所における担任以外の保育士の配置を必要とする児童は、21年度は公立3園で14名、民間5園で10名、合計24名である。

答 21年度については、ふるさと雇用再生事業として交野市ポータルサイト構築事業、大阪ミュージアム活用事業、また、緊急雇用創出事業として創造の森除草委託事業、セーフティロード事業及び雨水排水台帳電子化事業を実施し、15名の雇用の創出に努めている。また、22年度については観光ガイドブック整備事業や防火安全対策の普及啓発事業など11事業と、21年度からの継続事業であるふるさと雇用再生事業の2事業と合わせて43名の雇用の創出を図っていききたい。

問 障がい児保育の現状に

問 次世代育成行動計画に上げられている児童虐待問題の取り組みについて。

答 児童虐待問題については早期発見、早期対応と虐待発生後の見守りが重要である。そのため、次世代育成支援行動計画の前期計画において、児童虐待に関する周知・啓発、虐待ネットワークの充実、地域における見守り体制の充実などを取り組みの柱として推進していききたい。

問 高齢者福祉の現状と今後の方針について。

答 高齢者福祉は要介護状態にならないための介護予防と地域支援事業の推進に取り組んでいる。現状、高齢者スポーツ講習会として、グラウンドゴルフや気功、ウォーキングなどの初心者向けの講習会を開催し、高齢者スポーツを通して健康の維持、増進を図るとともに、仲間づくりや閉

問 学校給食の食物アレルギーの現状と対応について。

答 現在、食物アレルギーが原因で給食の一部でも食べられない児童・生徒は55名程度である。対応については、健康上の理由により飲用牛乳、ご飯、パンのアレルギーマシンの児童・生徒に対しては、保護者からの申し出により学校長が認めた場合、飲用牛乳、ご飯、パンに限り停止している。

その他の質問

一、事務事業評価について
一、公文書管理法について



元気アップ大作戦

答 高齢者福祉は要介護状態にならないための介護予防と地域支援事業の推進に取り組んでいる。現状、高齢者スポーツ講習会として、グラウンドゴルフや気功、ウォーキングなどの初心者向けの講習会を開催し、高齢者スポーツを通して健康の維持、増進を図るとともに、仲間づくりや閉

じこもり予防に努めている。また、運動、口腔、食生活、認知症予防などについて、学びながら心身ともに健康維持、増進をはかる元気アップ大作戦は、ゆうゆうセンターでの定期的な教室開催に加え、地域14か所の拠点において、教室修了後も継続して介護予防活動に取り込まれている。

問 学校給食の食物アレルギーの現状と対応について。

環境行政について
新ごみ処理施設の処理方式については、環境への配慮、コスト、安全性・安定性、さらにはエネルギーの再利用効率といった4つの点を考慮して、最も定評のあるストーカークルによる方式が採用された。特に同施設では発電施設を設置し、自家発電したものを施設内の電力設備に供給するなど、エコロジー面に特段配慮がなされたものとなっている。ただ、この新炉が稼動するのは平成28年と予定されており、それまでの間は現施設の計画的な維持管理を進めるとともに、ごみの減量化、リサイクル化を一層推進され、炉にかかる負担を軽減させ、過剰な修繕などが発生しないよう適正な運営を願う。

会派無所属 浅田 耕一

日本共産党

中上さち子・坂野 光雄
皿海 ふみ

「ゆうゆうバスの削減やめよ」

など全●項目

問 ゆうゆうバスの3台から2台への削減案の具体的な内容は。

答 運行コースは、3コースから星田方面と倉治・郡津方面の2コース。運行時間は、星田コースは48分から58分に延びる。倉治コース42分、郡津コース35分は

合併して51分となる。運行間隔は60分から70分に延びる。1日の便数は各9便から7便に減る。日曜・祝日は運休とする。

要望 3台が2台に減れば、障がい者や高齢者等の移動の困難が増してくる。巡回時間が延びれば、身体的に負担が大きい。行き帰りの所要時間も大きく増える。高齢者や障がい者の人口は今後とも増えるため、ゆうゆうバスはさらに重要となる。削減することなく、3台での運行を強く求める。

含めて140人にもものぼっている。各保育園では定員を超えてこどもを受け入れているが待機児童は解消しない。公社の土地や市の土地利用で公立保育園の建設や、国の「安心こども基金」を活用して民間保育園の新設や増設をすすめるべきではないか。

答 市の「次世代育成支援後期行動計画」（22～26年度）では、「時間延長等の拡充」を目標として掲げており、今後、保護者会や指導員の意見を聞きながら、放課後児童会運営委員会に諮っていききたい。

要望 時間延長は働く親の切実な願いであり、早期実現を望む。また、児童会は通常4年生までだが、障がいのある児童は高学年になっても放課後や夏休み等を一人で過ごすのは難しい。障がい児については、6年生まで受け入れを行うよう求める。



ゆうゆうバス

待機児童の解消は保育所の新設・増設で

問 保育所の待機児童は、預けられたら働きたい人も

放課後児童会の充実を

問 放課後児童会の開室時間（現在午後6時15分ま

その他の質問

- 一、就学援助制度の充実について
- 一、新ごみ処理施設建設予定地について
- 一、星田駅前パチンコ店について

議員控室配置図

自由民主党	公明党	市民かがやきクラブ		会派無所属	日本共産党
◎堀 憲治 稲田美津子	◎三浦美代子 岩本健之亮 新 雅人 友井 健二	◎谷 巖 吉坂 泰彦	黒田 実 坂本 顕 野口 陽輔	栗原 俊子 浅田 耕一 前波 艶子	◎坂野 光雄 中上さち子 皿海 ふみ
内線 307	内線 305	内線 304	内線 303	内線 302	内線 301

※◎は、会派の幹事長

予算特別委員会（3月15日～18日） 22年度一般会計予算を可決

議案第12号 一般会計予算

▼概要 一般会計予算は、24億7849万2千円で、前年度と比較して34億2450万2千円の増額。主な増額理由は、公債費のうち借換債が18億9438万8千円、扶助費が11億9580万7千円増額ほか、子ども手当の創設など。

▼結果 可決（賛成多数）
▼主な質疑
「Aブロック」
（市長公室・総務部・議会事務局・行政委員会事務局にかかる予算）

○ 市税収入は前年度に比べ3.6%、約3億4千万円の減少となっているが、市税の減少については、交付税措置が行われると認識している。また、臨時財政対策債が前年度と比べて、4億

円増加しているため、一般財源の使用可能額は、税収の減少分を穴埋めしてなお、昨年度を少し上回ると言えるのか。

○ 市税の減少に対しては、交付税にて75%の補填が行われる。一方、臨時財政対策債は、地方財政計画を基に計上しているが、新政権下ではその総計が15倍と伸びている。しかし、一律に15倍となるわけではな

いため、その点も考慮した額を計上している。これらをおわせると税収の落ち込み分については補填できていると言える。

「Bブロック」
（市民部・保健福祉部・こども室（保育所）にかかる予算）

○ ゆうゆうバスの運行形態を現行の3コースから2コースとした場合、それぞれの運行時間が長くなり、市民にとって利便性が悪くなる

と考えるが。

○ 星田方面と倉治・郡津方面の2コースとなるが、星田方面については、現コースを基本とし、急傾斜地や新設要望のあった地域などの追加を検討している。倉治・郡津方面についても現コースを基本とし、一部見直しやバス停の移動を検討している。このため、両コースとも運行時間が長くなるが、今まで利用できなかった地域の方にも利用していただくことができると考えている。

「Cブロック」
（環境部・都市整備部・農業委員会・消防本部にかかる予算）

○ 新ごみ焼却施設建設に伴い、土壌調査の予算が計上されているが、用地の購入当時、埋設物の有無を調

査すれば、より低価格で買収できたのではないかと

○ 市が土地を購入する場合、土地の鑑定評価に基づき購入しなければならぬ。建設予定地の買収にあたっては近隣の取引事例を参考に、標準値価格を決定し、地下の埋設物の有無にかかわらず鑑定を行った。当時の法律では、土地の履歴を調査し、土壌土質の状況を把握することが必ずしも鑑定条件としては問われなかったことから、更地としての鑑定評価額で購入に至ったものと考えられる。

「Dブロック」
（こども室（幼稚園）・教育総務室・生涯学習推進部・学校教育部・図書館にかかる予算）

○ 学力向上推進事業の目的に市教育委員会が、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握するとの説明であるが、国の調査では、個々の学力向上には繋がり

にくいとの結果が出ているにも関わらず、市独自で実施する理由は。

○ 子どもたち一人ひとりの学習状況を正確に把握し、学力向上に対しての取り組みを進め、調査を分析することによって、新たな施策、方針を進めていくうえで必要であると考えている。

「総括」

（予算全般に関する質問など）

○ 私部公園の駐車場として利用している私部南多目的広場を平成24年に地権者へ返却する予定とのことだが、代替駐車場については、どのように考えているか。

○ 新設する第二京阪道路高架下駐車場や既存のいきいきランド駐車場などの空きスペースを基本に、関係する所管部局と協議を行いたい。公園利用者に対して、乗り合いでの来場なども、乗り合いでの来場など、協力を要請していきたい。

「討論」

【反対討論】

22年度一般会計予算は、最低限の施策の前進はみられるものの、第2次財政健全化計画によって、市民サービスの低下と負担増を押し付けた中身となっている。事業の削減に市民の声や議会の意見が反映されておらず、市民参加のまちづくりに相反する。市税収入が落ち込んでいるが、地方交付税等の増額が予定されており、施策の切り捨てを行わなくても財政上支障はない。市は「住民の福祉の増進を図る」という地方自治本来の役割にたちかえり、市民生活切捨ての第2次財政健全化計画を撤回し、市民とともに暮らし・福祉の増進に努めることを求め反対する。

【賛成討論】

22年度予算から第2次財政健全化計画に基づく事業の見直し、人件費・経費の削減が盛り込まれているが、削減だけでな

く歳入の確保が重要である。第二京阪道路の全線供用開始に伴い、地域振興や観光などの観点から歳入の確保に向けて、新たな事業展開を期待する。また、市町村への事務の権限委譲が本格化することから、組織体制を見直し、人材育成の抜本的改革に取り組み、さらには市民福祉の向上と安心・安全なまちづくりを推進するために適正に予算が執行されることを要望し、賛成とする。

【賛成討論】

市は22年度から6年にわたる第2次財政健全化計画で事務事業を見直す決定を行ったが、負の遺産はなお財政を圧迫している。負債の縮減はもちろんであるが、メリハリのある施策を望むところである。財政健全化計画において、市独自のサービスの廃止、縮減が多くあげられている、最大の削減項目は人件費であり、市民感覚として

は、自らの身を削ったうえで市民サービスを削減することは、理解を得られないのではないかと考え、本案に賛成する

【賛成討論】

市は、昨年11月に第2次財政健全化計画を策定し、今回の予算案もその内容が色濃く反映されている。将来に負担を残さないため、施策の廃止や縮小などは、苦渋の選択であると考え、このような中でも知恵を出し、汗をかき、市民に喜ばれる施策を実行するよう求める。個別の施策・予算に目を向ければ、一層の検討を要するものもあり、継続して議論を続けていかねばならないものもある。今回、交野市身体障がい者福祉会から、ゆうゆうバスについての要望が寄せられたが、これについて市、同会、議会として総合的な理解を得られるよう再考を求めて、本予算案に賛成する。

行財政対策特別委員会（2月24日）

事務事業評価報告書（20年度事業分）についての説明を受け、質疑を行いました。

【問】 現在、国や各地の自治体で事業仕分けが行われているが、本市においても事務事業評価をよりオープンな形で実施する考えはあるか。

【答】 今後、検討して方向性を定めていく必要があると考えている。近隣自治体で事業仕分けを実施したところもあるので、そういったところを参考にしながら、オープン化も視野に入れ、検討していきたい。

▼主な質疑

【問】 現在、国や各地の自治体で事業仕分けが行われているが、本市においても事務事業評価をよりオープンな形で実施する考えはあるか。

【答】 今後、検討して方向性を定めていく必要があると考えている。近隣自治体で事業仕分けを実施したところもあるので、そういったところを参考にしながら、オープン化も視野に入れ、検討していきたい。

議会改革特別委員会（2月1日・18日・3月5日）

「一般質問通告期限」「一般質問の質問内容の聞き取り日時」「議員の宿泊を伴わない旅費の日当」「公用車」の取り扱い及び職員の見直し、「政務調査費の見直し」について審査を行いました。

広報特別委員会（1月27日・2月8日・25日）

「議会だよりの発行日の見直し」について、8ページ版の基本デザインを決定し、5月から1日発行とすることをしました。

その他、「議会のIT化促進」、「議会だよりの配置スペースの確保」、「2月10日発行の議会だより」について審査を行いました。

総務文教常任委員会（3月23日）

21年度一般会計補正予算（第7号）など、3議案を可決

議案第11号 21年度一般会計補正予算（第7号）

▼概要 ゆうゆうセンター

の改修工事、子ども手当システム、市道の補修・改修、小中学校のガス管改修、幼稚園の屋上防水

▼結果 可決（満場一致）

工事など、国・府の補助金が伴う事業が主。

議案第17号 公共用地先行取得事業特別会計予算

▼概要 14億3248万8

議案第20号 訴訟の和解

▼概要 星田5丁目地内の私有地と市所有水路との境界を確定するための訴訟において和解しようとするもの。

▼結果 可決（満場一致）

千円。前年度比較で5億8567万円増。
▼結果 可決（満場一致）

都市環境福祉常任委員会（3月23日）

国民健康保険特別会計予算など、9議案を可決

議案第8号 自転車の放置防止に関する条例の一部改正

▼概要 市が回収した放置自転車、一定期間保管した後、市の所有物として売却できるよう所要の改正を行うもの。

▼結果 可決（賛成多数）

優遇税制が、保険料に反映されるのは承服できない。

▼結果 可決（賛成多数）

議案第13号 国民健康保険特別会計予算

▼概要 74億48万7千円。

議案第9号 国民健康保険条例の一部改正

▼概要 上場株式等の配

前年度比較で2億2402万円増。

▼討論 反対⇨保険料引き

上げを含む予算案に反対。一般会計からの一層の繰り入れを求める。
▼結果 可決（賛成多数）

議案第14号 下水道事業特別会計予算

▼概要 14億7721万3千円。前年度比較で2億859万6千円減。

▼結果 可決（満場一致）

議案第15号 老人保健特別会計予算

▼概要 476万5千円。前年度比較で、88万7千円減。

▼結果 可決（満場一致）

議案第16号 介護保険特別会計予算

▼概要 39億3446万円。前年度比較で98万4千円増。

▼結果 可決（満場一致）

議案第18号 後期高齢者医療特別会計予算

▼概要 7億641万7千円。

前年度比較で2916万4千円増。

▼討論 反対⇨保険料引き

引き上げに対する市独自の補填措置を求める。

▼結果 可決（賛成多数）

議案第19号 水道事業会計予算

▼概要 38億6564万7千円。前年度比較で11億3057万2千円増。
▼結果 可決（満場一致）

議員提出議案第2号 福祉バス条例の制定

▼概要 ゆうゆうバスの現行の運行形態（1日3系統各9便等）を条例化するもの。

▼討論

反対⇨財政再建団体になれば、ゆうゆうバス存続は不可能となる。利用者に迷惑が及ぶが財政状況も考慮し反対。

反対⇨収入の確保を図り、利用者と行政とが一体となつて検討会議で議論することを求め反対。

賛成⇨市は、弱者が安心して暮らせる福祉施策を推進する責務があり、現行制度の継続を求める本案に賛成。

▼結果 否決

平成22年第1回議会定例会（3月1日～26日）

案 件 名		本会議結果
議73号	交野市葬儀条例の一部を改正する条例について	一部修正可決○
諮1号	人権擁護委員の推薦について	適任◎
報1号	専決処分事項報告について（和解及び損害賠償の額の決定）	報告
議1号	専決処分事項報告について（平成21年度交野市一般会計補正予算（第6号））	承認◎
議2号	公平委員会委員の選任について	同意◎
議3号	固定資産評価員の選任について	同意◎
議4号	交野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議5号	交野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議6号	交野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議7号	交野市水道事業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議8号	交野市自転車の放置防止に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議9号	交野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決○
議10号	財産（教育用コンピュータ）取得の契約金額の変更について	可決◎
議11号	平成21年度交野市一般会計補正予算（第7号）について	可決◎
議12号	平成22年度交野市一般会計予算について	可決○
議13号	平成22年度交野市国民健康保険特別会計予算について	可決○
議14号	平成22年度交野市下水道事業特別会計予算について	可決◎
議15号	平成22年度交野市老人保健特別会計予算について	可決◎
議16号	平成22年度交野市介護保険特別会計予算について	可決◎
議17号	平成22年度交野市公共用地先行取得事業特別会計予算について	可決◎
議18号	平成22年度交野市後期高齢者医療特別会計予算について	可決○
議19号	平成22年度交野市水道事業会計予算について	可決◎
議20号	訴訟の和解について	可決◎
議員1号	予算特別委員会の設置について	可決◎
議員2号	交野市福祉バス条例の制定について	否決
議員3号	星田駅前パチンコ店出店に関する住民訴訟に交野市の訴訟参加を求める決議について	可決◎
議員4号	交野市斎場使用料補助金交付条例の制定について	可決○
議員5号	交野市議会議員の議員報酬並びに費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決○
議員6号	市条例の実効性確保のため関係法令の整備を求める意見書の提出について	可決◎
議員7号	子ども手当の全額国庫負担を求める意見書の提出について	可決◎
議員8号	すべての石綿健康被害の早期救済と万全な対策を求める意見書の提出について	可決◎
議員9号	所得税法第56条を廃止することを強く求める意見書の提出について	可決◎
議員10号	「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書の提出について	可決◎
議員11号	政治資金規正法の制裁強化を求める意見書の提出について	可決◎
議員12号	介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書の提出について	可決◎

※議は議案、諮は諮問、報は報告、議員は議員提出議案です。

平成22年第2回議会臨時会（3月30日）

案 件 名		本会議結果
	交野市斎場使用料補助金交付条例の制定についての再議について	否決

※再議では、先のとおり議決するためには、出席議員の3分の2の賛成者（特別多数決）が必要です。

議会の傍聴にお越しく下さい
～第3回議会定例会の予定～

6月2日（水）本会議（初日）
6月14日（月）～16日（水）本会議（一般質問）
6月18日（金）本会議（委員長報告・採決）